

伊万里 市議会だより

第28号

平成21年
(2009年)

1月



♪伊風堂々♪ (市民音楽祭/伊万里小学校コーラス部・伊万里少年少女合唱団・黒川小児童)

12月補正額： 6億9,004万円
予算総額： 205億6,317万円
(対前年同期：△6億570万円、△2.9%)

特集

下水道使用料の改定について

★「伊風堂々」：黒川小学校のオリジナルソング。平成17年度5・6年生全員が「ふるさと伊万里」のテーマで作った短歌から言葉を選んで作詞、学校サポーターが作曲。詳しくは黒川小学校HPをご覧ください。

平成20年伊万里市議会第4回定例会 会期日程

12月

開議時刻 午前10時

日	種別	内容
1(月)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等33件 …… 一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
3(水)	本会議	議案等に対する質疑
4(木)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
5(金)	休会	特別委員会（交通網・港湾・企業誘致対策）
8(月)	休会	特別委員会（地域医療整備対策）
9(火)	本会議	一般市政に対する質問 決議案の上程、討論、採決
10(水)	本会議	一般市政に対する質問
11(木)	本会議	一般市政に対する質問
12(金)	休会	常任委員会
15(月)	休会	常任委員会
16(火)	休会	正副委員長会
18(木)	本会議	常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 決算審査特別委員会報告 特別委員会中間報告に対する質疑 決算審査特別委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉会

議会ホットコーナー

どうなる 黒澤明記念館？

前号で特集を組みましたが、12月8日に黒澤財団法人畑常務理事から説明を受けました。

- 記念館建設のために寄付を募ってきたが難しかった。これまでに寄せられた寄付金は凍結しており、再度の募金はしない。
- 映画を通じて社会文化に貢献する方向に転換した。
- 黒澤明生誕100周年プロジェクト事業としてシネマワールドキャラバン活動（ショートフィルムコンペーション、アーティスト養成、映画学校等）を通じて企業・映画界・外国大使館などの協力を得て事業を成功させたい。
- 翌日の新聞には「記念館来年3月着工、2010年完成を目指す」との発表があった。期待して見極めたいと思います。



人権擁護委員の承認

原田奈生美氏、岩永孝雄氏

議案質疑

駅ビルの指定管理者

質問

3事業者から応募があったようですが、①今回選ばれた業者の提案に特長な事項があったのか②審査の透明性確保のため、選定結果の公表を③駅ビルと並んで導入が検討されている図書館についてはどんな状況か

答弁 ①産業部長 ②総務部長 ③政策経営部長

①具体的な提案はあっていないが、市と連携して利用促進のためのPRを行うとの言及があった。②業者の事業計画や採点表などがあるが、非公開とする理由もなく公開対象となる。③教育委員会では「導入しない」との結論が出されている。

暴力団等による暴力の根絶に関する決議

これまでも伊万里市・市議会は「暴力追放安全都市宣言」「銃器等犯罪の根絶に関する決議」を行ってきたが、県内外で暴力団に関係する事件が頻発している。関係機関の総力を結集し安心・安全の社会環境の実現を図ることを決議した。

下水道使用料の改定について

12月議会の大きな論点に、下水道使用料・留守家庭児童クラブ利用料・市立幼稚園保育料の値上げがありました。そのうち、下水道使用料に関して議会に提出された資料等を共有したいと思います。

平成20年度末（見込み）

供用区域面積	1,027ha
供用区域人口	28,800人
水洗化人口）★	25,500人
水洗化率	88.5%
人口普及率	49.6%

財 源 構 成	
建 設 費	維持管理費
国 費 市 費 受益者負担金	一般財源 地方債 公共下水道使用料

	下水道	農業集落排水	合併処理浄化槽	単独処理浄化槽	簡易水洗便所	汲取り世帯割
算出条件	一般家庭 (25㎡)	世帯割 1,000円 4人×800円 =3,200円 計4,200円 4,200円× 1.05 =4,410円	清掃手数料 52,500円 保守点検料 3,150円×4回 =12,600円 電気代 5,400円 11条検査 4,000円 計74,500円 74,500円÷ 12月 =6,208円	清掃手数料 21,000円 保守点検料 3,150円×4回 =12,600円 電気代 5,400円 11条検査 4,000円 計43,000円 43,000円÷ 12月 =3,583円	(3㎡×4人×30日)÷18㎡=20 20×162円×1.05=3,400円	320円 4人×280円=1,120円 計 1,440円
	月額	(改定前) 3,660円 (改定後) 4,040円	4,410円	6,208円	3,583円	3,400円
(注) 下水道は25㎡使用の場合、農業集落排水・簡易水洗便所・汲取りは4人使用の場合						
世帯数	9,000世帯 42.3%	500世帯 2.4%	900世帯 4.2%	1,000世帯 4.7%	7,000世帯 32.9%	2,700世帯 12.7%

注1：世帯数は平成20年3月31日現在：21,258世帯 注2：上記世帯数以外は、自家処理158世帯（0.8%）
※値上げは平成21年2月使用分（4月徴収分）からです。

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

委員会に付託された条例議案1件、一般議案1件、補正予算議案1件について慎重審査の結果原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案第107号の伊万里市税条例の一部を改正する条例については、地方税法の改正に伴い、また県条例との整合性を考えて、改正されたものである。これまで、県、市に対する寄付金の中で、5,000円を除く分が税額控除の対象であったものが、その対象範囲が広域的なものになり、大学他、学校法人、団体等に対する寄付金についても税額控除の対象となるもので、4月から適用される。

議案第123号の字の区域の変更については、南波多町地内において国土調査法に基づき実施中の地籍調査事業に伴い、地方自治法第260条第1項の規定により変更することとなった。

補正予算議案歳入全款の中で生活保護費負担金の増額が目につく。特に医療費扶助に関してはその6割以上が高齢者が対象となっていることから、地域内における医療施設の充実はもちろんのことであるが、予防医療の為に市民意識の高揚とその対策が必要と考えられる。また新規としての病後児保育事業には、県補助金、524千円の予算がつき、5月から利用者の事前登録も始まる予定である。

総務管理費の中で、庁舎冷房空調設備費7,875千円の補正を認めた。本来5年に1回の割合で見直しを行って来たところであるが、ターボ冷凍圧縮機に経年劣化が見られることから21年夏場の冷房稼働前に全分解整備を行うこととなっている。

昨年新規採用されたふるさと応援基金に今

年全国から16件の応募があり、市財政運営状況が益々厳しくなっていく現状の中で多くの寄付金が寄せられることは大変歓迎されることで更なる呼びかけと、この主旨、目的の徹底を求めたところである。

諸支出金については、市民病院負担金の救急医療の確保に要する費用として50,942千円を認めた。現在市民病院は平成23年有田町共立病院との統合に向け、着々と準備を進めているところであるが、緊急性のあるものや新病院につながる予算関係は認められるものの、不必要な支出は極力抑さえるようにとの意見が出された。

消防に関しては、火災概要、救急救助業務の説明を受けたところであるが、ただ火災発生件数が昨年と同時期と比較して15件もの増があり、出火原因として放火と放火の疑いが12件と驚くほどの状況で市民への防火対策を警察と協力して徹底的に行っているとのことである。

また救急出動数は減少の傾向にあるものの、急病による出動は全体の50%以上を占め、搬送病院先については西部医療圏内が80%を超えているとの報告を受けた。



煙体験ハウス

◎笠原 義久 ○樋渡 雅純
前田 教一 多久島 繁 松永 孝三
船津 賢次 前田 久年 下平 美代

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、
教育委員会、市民病院

当委員会に付託された条例議案2件、一般議案7件、予算議案5件について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

- ①留守家庭児童クラブ利用料・市立幼稚園保育料の値上げ：平成16年に策定した「伊万里市財政健全化計画」では18年度から値上げし21年度には留守家庭児童クラブは月額4,000円、幼稚園は月額1万円となる予定だったが延期。18年度策定の「第2次財政健全化計画」に則って段階的に実施。事業における公費に対する保護者の負担割合について国の指針では50%となっているが、現状では約35%であり、値上げ後は約44%となる見込み。市内クラブの状況や県内他市の状況などについての提出資料をもとに、値上げは止むを得ないとの結論に至った。特に留守家庭児童クラブでは長期休暇中のみの一時利用者が、終業式・始業式に利用できない事についての問題提起があり、この冬休みからの対応がなされる事になった。空調施設整備の均衡化への意見もあった。

行政視察（10月29日(水)～11月1日(土)）報告

愛知県東海市、三重県亀山市・鳥羽市、名古屋市を訪問し研修しました。そのうち亀山市と鳥羽市について報告します。

(1) 三重県亀山市（総合環境センター）

平成12年に稼動したガス化溶融炉方式のごみ処理施設。当時県が進めていたRDF方式では完全最終処分ができないこともあり、高温溶融方式に決定。多様なごみを一括処理出来る点と焼却後に出るスラグやメタルの再資源化が可能なのが特長であり、更に熱エネルギー利用の発電も可能。また隣接する旧環境センター最終処分場の埋設物を掘り起こして溶融中。この方式による最終処分は溶融飛灰のみであり最終処分場の延命化が図られる点や、クローズドシステムの最終処分場など、大変参考になった。

	現 行	4月から
留守家庭児童クラブ	月額3,000円	3,500円
8月のみ	〃	5,000円
長期休暇中の1日利用	日額200円	300円
市立幼稚園(黒川・波多津東)	月額7,000円	8,000円
預かり保育	日額300円	400円

※クラブ利用2人目以降は半額

- ②指定管理者の指定：老人センター、3老人憩いの家、伊万里市ハートフルセンターひまわり園について3年間の指定期間が切れるため指定を更新。ひまわり園は前回公募であったが、今回は非公募となった。★
- ③補正予算：懸案だった病後児保育について、前田病院の旧院施設で実施して頂けることになり、そのための施設整備補助金141万7千円。看護師と保育士の2人体制により定員2名で来年7月開設予定。また1月17日に北京オリンピック女子ソフトボール日本代表選手を招いて開催する「スポーツフェスタin伊万里」への補助金30万円。実技指導要請の意見があった。
- ④その他：市民病院小関院長に出席をお願いし、医師確保の苦労やO-157発生時の抗生剤使用不使用について率直な意見交換ができた。

(2) 三重県鳥羽市（リサイクルパーク）

家庭ごみの発生・排出抑制やリサイクルの推進を目指して、整備計画の段階から住民の意見を聞きながら取り組み、管理運営をNPOに委託。資源回収のためのブースが設置され、開設時間内は自由に搬入でき紙類は商店会で使えるポイントを加算。また生ごみ堆肥化の取り組みは、1時間程度の生ごみ堆肥化講座を受講した人が、プラスチック製のケース「ひなたぼっこ」と床材（微生物）を使用し家庭で2～3ヶ月かけて一時処理した生ごみを搬入し堆肥化するシステム。NPOの皆さんの生き生きとした活動状況が印象的だった。

◎岩橋 紀行 ○山崎 秀明
 占野 秀男 高木 久彦 島田 布弘
 田中 啓三 福田 喜一 盛 泰子

産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

当委員会に付託された条例議案1件、一般議案10件と一般会計補正予算及び5特別会計補正予算について審査の結果、原案の通り可決すべきものと決定いたしました。

主な審査内容は次のとおりです。

「下水道使用料金の改定について」

昭和63年の供用開始以来3回目の改定である。今回は平均改定率8.29%の値上げであるが利用者と公費負担のバランスを図るためにも使用料の改定は必要と認めた。

委員：今議会で、市民に直接関係する留守家庭児童クラブや市立幼稚園保育料の値上げもあり、その中で下水道料金も値上げということだが、値上げの前に、未収金・未納はどうなっているのか、未収金の回収については。

下水道課長：下水道課の職員、それに建設部の他の課の職員の応援を受けて、夏場・年末・年度末の年3回、約10班編成をして未納者宅に戸別訪問をしながら徴収に回っている。今後も訪問を強化して収納率を上げたいと考えている。

委員：公共下水道事業は本来受益者負が基本



伊万里浄化センター

であり、また下水道の水洗化率は。
部長：昨年度末で供用している区域で88.22%である。

「指定管理者の指定について」

一般議案については指定管理者制度を導入して行う公的施設の内、新規又は今年度末で指定期間が満了するものについて審査を行ったが、選定の理由や評点を公表し、制度運用の透明性をなお一層確保されることを望むよう意見要望を付した。



伊万里駅ビル周辺

委員：今回伊万里市東駅ビル及び伊万里市西駅ビルは初めての指定管理者制度への移行ですが、決定された内容・評価等については。

副部長(商工観光課長)：3企業団体からの提案があり、その中で総合的な評価で産業部あるいは市の選定委員会にかけて最終決定を行った。

委員：選定委員会は庁内の内部だけか、組織のメンバーは。

副部長(商工観光課長)：副市長をトップに関係部長等で組織している。今議会で承認いただければ詳細については協議に入り、利用促進について検討する。

「一般会計補正予算について」

「有害鳥獣対策事業(205万円)」当初予算で1,000頭分の予算措置であったが820頭増分の補正が必要になった。

「ツル越冬事業について」

委員：伊万里市はツルの誘致を行っているが、長浜干拓周辺と対岸等に野鳥(カモ)の被害が農産物に出ているとの声があり、今後農家への配慮が必要と考える。またブロイラー(市内で19戸・48万羽飼育)農家の経営を行う中で鳥インフルエンザの発生が危惧されおり、今後の対応は。

副部長(農山漁村整備課長)：まだそういう報告はされていないが、今後注意を払いながら、対応していきたい。

◎前田儀三郎 ○渡邊 英洋
松尾 雅宏 松尾 博幸 草野 譲
堀 良夫 内山 泰宏 浜野 義則

交通網、港湾、企業誘致対策調査特別委員会

1. 西九州自動車道の整備について

唐津伊万里道路については、南波多町水留、重橋、谷口及び古里地区において用地説明会が開催され、引き続き用地買収を計画されている。南波多町高瀬地区において施工されている住吉橋、高瀬橋の下部工については橋脚の型枠作業等が行われており、切土・盛土の施工により西九州自動車道はその容貌を表しつつある。今回初めて現地調査を行い説明を受けた。伊万里道路は地質調査や設計業務が行われており、伊万里松浦道路は用地買収の継続と工事が発注されている。

なお、本委員会は伊万里・平戸・松浦市議会西九州自動車道建設促進協議会の構成員として本年10月16日に国土交通省九州地方整備局に、11月26日、27日には国土交通省・財務省及び佐賀・長崎両県選出の国会議員に対し建設促進の要望活動を行ったところである。また、12月14日には西九州自動車道（伊万里市域）の着工式が南波多小学校体育館で開催されている。

2. 港湾の整備について

七ツ島工業団地の多目的国際コンテナターミナル整備については、ケーソン7函の据え付けの発注が予定されている。

また、久原北地区航路の水深マイナス10m浚せつも引き続き行われており港湾機能の強化が図られている。

3. 企業誘致について

本年4月から11月までに、企業訪問・来訪による立地勧奨は21社に対し延べ31回、立地企業に対するフォローアップは22社に対し延べ104回行われており、新規の進出企業として、11月に(株)エレテックが伊万里市企業活動支援センターへの第1号の入居者となり進出している。

さらに、企業誘致を推進するには厳しい経済環境となっているが、安心して働くことのできるまちを創出するためにさらなる努力を期待する。

なお、第4工業用水道建設事業の締切堤について現地調査を行い工事の進捗状況について説明を受けた。現在、締切堤の変位に係る対策工事が施工されており、来年7月の工業用水の供給開始に向け鋭意努力されている。



西九州自動車道(伊万里市域)着工式 平成20年12月14日

◎草野 讓 ○樋渡 雅純 松尾 雅宏
渡邊 英洋 高木 久彦 島田 布弘
福田 喜一

議会運営委員会

前号でも報告したとおり、引き続き議会運営・改革についての検討を行っています。

会派について

現在、会派の実態がないという鹿島市議会を訪問。会派導入および再検討の事情に詳しい橋爪議長・中村副議長・澤野事務局次長・江口管理係長の出席を得て、率直な意見交換ができた。

平成9年に導入した際、少数会派の尊重が条件だったために、1人会派からも会派代表者会議への参加を認めたため、少数意見が強くなる現象がおきた。また議案への賛否等を

巡って6年間に20回の会派移動があり、その対応が大変だった。これらの状況を経て平成14年以降に再検討を行い、15年の改選後から常任委員会・議会運営委員会委員の会派からの選出をやめた。制度そのものは残したが、現在、会派届出もなく実態として無い状況である。

1月には、合併後に会派を新しく設けた神埼市議会を訪問する予定。

◎盛 泰子 ○前田 久年 松永 孝三
松尾 博幸 船津 賢次 内山 泰宏
岩橋 紀行 田中 啓三 浜野 義則

地域医療整備対策調査特別委員会

特別委員会報告

1.新病院建設における進捗状況等について

新病院建設に向け、用地交渉・インフラ整備に係る協議等の事務処理がなされているところです。

用地交渉については、病院用地の買収が予定より遅れていますが、来年3月下旬までに契約を完了し、来年4月から造成工事に着手する見込みとなっています。

病院建物については、審査委員会においてプロポーザル方式により選出された業者は、10月23日の推進協議会の承認を経て11月20日に基本設計業者との業務委託契約が締結されました。建設コスト削減と工期短縮、さらには病院建設の実績・実施体制等が審査にあたって高く評価されたからです。

2.新病院建設に向けて

平成23年4月開院を目指して、平成21年12月から建設工事に着工する予定となっています。そこで基本設計においては、医療現場の各部会から成る建設プロジェクト委員会（仮称）を設置して設計協議を行い、医療現場の考えを設計に反映させていくことが予定されています。

経営形態については、公的病院経営が厳しい状況に置かれ、改革ガイドラインが示されているが、地方公営企業法の全部適用や将来的に地方独立行政法人化も視野に入れた検討が早い段階で必要として鑑み、本委員会としても議論を重ね、一定の見解を持ちたいと考えています。

3.先進地視察について

①山口県萩市（萩市民病院）

山口県の日本海側で唯一の公的病院で100床を有する。医師会、住民、議会、行政の4者で小児科医確保に向けた取り組みがなされ、平成16年には小児科が開設される。翌年には小児専用病床も設けられた。

医療計画自体の考え方が病床数という量的管理から提供される医療そのものの質的管理へと変わる中、医療計画における4疾病5事業に対する位置づけが重要であり、専門医の数が大切になるとの説明を受ける。投資すべきところはしっかりと投資を行い、そこで提供

すべき医療機能を明確に形成しておく必要性を認識した。



萩市民病院

②大分県中津市（中津市民病院）

国立病院から経営移譲を受けた病床数250床の病院である。総合病院化するのではなく、診療機能の分化を図り、地域全体で総合病院としての機能を営ませるという、いわゆる「地域完結医療」への先駆的な取り組みはこの病院の大きな特徴としてあげられる。又、この病院においても医師不足は深刻な問題となっており、医学生を対象とした奨学金制度や院内保育所の設置など、医師確保を最優先課題とした積極的な取り組みがなされている。可能な限りの地域医療完結型の医療提供体制を目指すことが必要であることを認識した。

③福岡県八女市（公立八女総合病院）

診療科19、病床数330床体制で八女地区における高度医療を提供している。迅速な経営判断とその責任の明確化、成果主義への人事給与制度改革が必要であるという考えから、地方公営企業法を全部適用し経営転換を図っている。公的病院経営における危機的状況を乗り越えるためには、経営体制と人事給与制度の同時改革が必須であり、運営組織から経営組織への転換が最優先事項であると説明を受けた。経営形態として、地方公営企業法の全部適用のみでは意味をなさず、これに伴う組織改革が必要であることを認識した。

○堀 良夫 ○多久島 繁 占野 秀男
山崎 秀明 笠原 義久 前田儀三郎
下平 美代

平成19年度伊万里市一般会計及び特別会計決算審査特別委員会

本委員会に付託された19年度一般会計並びに国民健康保険、介護保険、立花台地開発、公共下水道、農業集落排水、市営駐車場及び老人保険の7特別委員会決算認定について、11月11日、12日、13日、14日及び17日に委員会を開催し慎重審査の結果、これを認定すべきものと決定いたしました。なお、審査の概要及び意見、要望は、次のとおりである。

一般会計決算について

歳入歳出予算236億7,048万2,8520円に対し、収入総額236億5,571万8,381円、支出総額233億3,793万3,013円で、形式収支、実施収支ともに前年度に引き続き黒字決算となっている。

歳入では、個人市民税や固定資産税の増加、特に法人市民税の大幅な増加がみられた。歳出では、各種補助金や経常経費の削減、抑制が図られ財政運営に当たったことは評価できる。

次年度以降においても、大型プロジェクトを控えており、限られた財源を有効に活用し重点的かつ効率的配分と、更なる経費節減になお一層の努力を望むものである。

特別会計決算について

7特別会計のうち、5会計が赤字決算となっている。国保会計では、2億2,278万4,205円の赤字決算となっている。国保税の収入未済額が7億1,112万4,092円となっており、収入未済額の解消に継続的な取組みを望むものである。

公共下水道会計では、1億7,877万7,473円の赤字決算となっている。受益者負担金の収入未済額が年々増加傾向にあり、対策を講じ滞納額の減少に努められるとともに、水洗化率が88.22%であり水洗化率の向上に努められたい。

農業集落排水会計では、4,203万9,638円の赤字決算となっている。水洗化率が井手野地区72.93%、宿地区66.46%と低い状況にある。

使用料収入の安定的確保と水洗化率の向上に更なる努力を望むものである。

◎高木 久彦 ○松尾 博幸 多久島 繁
松永 孝三 船津 賢次 草野 讓
内山 泰宏 岩橋 紀行 盛 泰子

平成19年度伊万里市企業会計決算審査特別委員会

本委員会に付託された平成19年度の水道事業、工業用水道事業及び市民病院事業の決算について、11月10日から12日までの3日間に亘り決算審査会を実施し次の意見要望を付し認定すべきものと決定いたしました。

意見要望

1、水道事業特別会計決算について

当概年度の純利益は前年度と比較して約2,500万円増加しているものの、有収率は上水道、簡易水道共に84%台で推移している。漏水防止対策や老朽管布設替工事等により更なる有収率の向上を期待する。

2、工業用水道事業特別会計決算について

企業等の進出による工業用水の需要増と償還金の減少により、6年振りに純利益を計上

する事となった。

今後とも効率的運営により累積欠損金の解消に努められたい。

3、国民健康保険病院事業特別会計について

厳しい経営が続く中で、病院関係者一丸となって経費の節減や医業収入に取り組みられた経過は評価される。

しかしながら純損失を計上する結果となっており、累積欠損金は更に増加している。この現状を重く受け止め経費節減はもとより、健康診断医療拡大等による経営健全化にむけて尚一層の努力を要望する。

◎島田 布弘 ○松尾 雅宏 前田 久年
渡邊 英洋 山崎 秀明 堀 良夫
笠原 義久 福田 喜一 下平 美代

一 般 質 問 (質問順)

一 般 質 問 事 項

議員名	質 問 事 項	議員名	質 問 事 項	
田中 啓三 (一問一答)	1. FA制度の実績について 2. 黒澤明記念館建設について 3. 八谷搦地区の調整池の問題について	草野 譲 (一問一答)	1. 新病院建設におけるこれまでの進捗状況とこれからの展望について (1) 開院までの一連のスケジュールについて (2) 総事業費はどれくらいか (3) 新病院の経営形態はどのような形態をお考えか (4) 国道202号からの取付道路について 2. 法定外公共物について (1) 市内全体での面積について (2) これまでの払い下げの申請について	
山崎 秀明 (一問一答)	1. 圃場入口道整備事業の創設について 2. 環・伊万里湾の発展を求めて		多久島 繁 (一問一答)	1. 久原大踏切の危険性について 2. 伊万里・有田地区統合病院整備事業の進捗状況について 3. 新型インフルエンザにおける市の取り組み方について
船津 賢次 (一問一答)	1. 本市への景気悪化の影響と対応について (1) 雇用 (2) 営業 (3) 暮らし 2. 資格証明書(国保)の交付について	浜野 義則 (一問一答)		1. 地域交通支援モデル事業について (1) 前回の質問で市は十分な支援・協力をしていくと回答されたが、その後どのように関わってきたのか (2) 地元協議会において事業計画がまとまりつつあるが、市は計画内容についてどのように捉えているのか (3) 来年4月から試験運行が実施される予定になっているが、市はどのような指導・支援を考えているのか (4) 試験運行後の地区外への乗り入れはどの範囲で可能なのか (5) 仮に走行試験の結果、不備・不具合が出た場合、事業の変更等が可能なのか (6) 試験運行後の県の支援はどのようになるのか (7) 事業運営で債務等が生じた場合、どこが対応するのか (8) この種の事業は市が事業主体になって取り組んだ方がよいと思うが、市の見解は
下平 美代 (一問一答)	1. 限界集落とよばれる地域の活性化 2. 自殺の予防と対策		笠原 義久 (一問一答)	1. 第4工水堤防工事事故の真相、原因、責任問題等について
樋渡 雅純 (一問一答)	1. 地デジ放送への円滑な移行の推進について (1) 難視聴地域への対応 (2) 高齢者、障がい者等への細かな相談・説明体制 (3) 行政支援 2. 「定額給付金」について			高木 久彦 (一問一答)
盛 泰子 (一問一答)	1. 来年度予算編成に向けて (1) 各部要求状況の公開 2. 契約のあり方について (1) 年度末から年度初めの状況 (2) 今後へ向けて 3. 県への要請事項について (1) 前田家住宅 ① 導水についての検討状況 ② 「22世紀に残す佐賀県遺産」として (2) 信号機の設置 ① 今年度の設置状況と今後の見通し ② 道路建設事業との一体化 (3) 県地域防災計画の改訂 ① 原発事故における風評被害対策			

FA制度の実績

田中 啓三

質問 この制度は、職員一人ひとりが仕事を通して、能力の開発と意欲向上、職場の活性化を目的として実施されているが、制度の成果と勤務実態など、どの様に把握されているか。

答弁 総務部長

希望の職場に行き、実績を上げられている方もいるが、決してそうでない場合もある。今後とも勤務実態、職場での問題点も合せて、再度職員への指導と制度の充実を計っていききたい。

黒澤記念館建設

質問 黒澤監督の生誕100周年記念事業の中で企業等からの協賛を受けながら、イベントを展開し、その中で記念館建設を行うと

の事だが、今の社会状況から見て無理がある。計画から、10年が経過しているので期限を決め決断するべき。

答弁 市長

財団が確実に企業協賛を得られるか不透明な要素が多く、財団の動きを検証し、タイムリットを来年3月としたい。

八谷棚地区調整池問題

質問 事業計画時の地元説明では、市民の憩いの場として計画を行っていくと、県から説明があったが、現状では調整池内部の管理がなされていないことから、種・穂が飛散し地元では大変迷惑しているが管理体制はどうなっているか。

地元には迷惑をかけているのは理解している。今後、県と市・地元で管理について協議していききたい。

圃場入口道整備事業の創設

山崎 秀明

質問 国は食糧輸入国から脱却して食料自給率50%の回復を目指したいと表明し、耕作放棄地の農地への再生や安定した農業経営のための緊急支援対策を考えているが、もつと全農家に関わる支援が望まれている。その支援の一助の策として農地の維持活動を高めるための圃場入口道や畦道等の不陸補修、急傾斜やの解消を図ることを目的とした補助事業の創設ができないか。又は、小規模土地改良事業の拡大による対応はできないか。

答弁 産業部長 市長

既設の事業対応は困難です。このことは食用自給率向上の観点から国の施策に對する要望としても検討したい。

環伊万里湾の発展を求めて

質問 市政の主要な柱として伊万里湾の開発が掲げられていますが、時宜を得て、産業経済の発展や観光振興等の一体的浮揚を図るため伊万里、松浦両市の構成による環・伊万里湾核都市研究会が発足した。本会の進展を多いに期待しているがこれ迄の協議、合意成果を示してほしい。

また次の三点について協議課題として提案したい。
①コンテナ基地の将来を両市に跨る工業団地開発と併せ考えてはどうか。
②本市西部地域と松浦市及び島嶼地域を対象に、浦之崎社会保険病院と松浦市民病院との統合も視野に入るべきではないか。
③北松地域を対象として農業高等専門学校が考えられないか。

答弁 政策経営部長

現状把握、課題整理の順序で展開しており提案は協議会進度の中でテーマとして考えたい。

本市への景気悪化の影響と市の対応について

船津 賢次

質問 派遣社員など非正規社員の解雇が大問題になっている。正規も非正規も働かなければ生活できない。師走の寒空に放り出される非正規社員のことを思うと胸が痛む。企業は社会的責任を果たすべきだ。また国も企業に対する指導・監督を強化すべきだ。

①伊万里市においても、サムコ等で派遣社員の削減が計画され実施されていると報道されているが、その実態を把握しているか。
②雇用は労働者にとって死活の問題である。困っている人の相談にのることが求められている。「相談窓口」を設ける考えはないか。

答弁 産業部長

①佐賀県で594人(厚労省調査)と発表されている。市町別、企業別には公

一般質問

一般質問

表しないという方針である。

答弁 市長

②市民サービス係内に生活支援相談コーナー、雇用相談コーナーを設けたい。(12月15日、失業者等緊急相談窓口を設置)

資格証明書(国保)の交付について

質問「無保険の子ども」問題が全国紙で大きく報道され、関心が高まっている。当市での資格証明書の交付状況はどうなっているか。

答弁 市民部長

交付世帯総数221世帯、子どものいる世帯15世帯、内訳は乳幼児1人、小学生17人、中学生6人、高校生6人、計30人となっていたが、その後の納税相談で現在は乳幼児0人、小学生10人、中学生4人、高校生4人、計18人と減少している。

限界集落の活性化

下平 美代

質問 ①伊万里市内に限界集落があるか。②中山間地の交通手段の確保は。

答弁 政策経営部長・市長

①伊万里市には65歳以上の人が集落の半分以上の所が3集落ある。しかし共同生活が営めない集落はない。

②市街地から離れた集落で、よか村座談会を開催し、要望の多い交通問題について、いまりんバスの田舎版として作業を進めている。案として市を3ブロックに分け、週2回の運行を検討している。しかし枠内から外れる遠隔ミニ集落については予約制タクシー等も考え、市街地の人の受ける恩恵と格差がないよう考えを進めている。

自殺予防と対策

質問 ①伊万里市内の自殺実態 ②心の健康の取り組み ③自殺を防ぐ相談窓口の設置 ④遺族・家族のケア ⑤予防の啓発

答弁 市民部長・総務部長

①伊万里市の実態は警察より開示がなかったため、県の実態とホームページによる伊万里市の実態、県19年度自殺者249人。伊万里市2002～2004年平均、13・7人。

②社会の変化に伴い、心の病が増えつつある。対策として心と体の健康づくり事業をしている。

③税務課の多重債務相談や市の相談窓口の横の連携を検討したい

④・⑤県事業のフォーラム等を誘致し遺族のケア啓発に努力する。

定額給付金

樋渡 雅純

質問 ①この給付金については、急激な物価高と所得の伸び悩みに苦しむ家計を応援する生活支援と景気の先行き不安に対応する経済対策を意味するが、本市での試算は。②無事故・スムーズな運用・迅速な対応に万全を尽くすべきでは。

答弁 政策経営部長

①給付金1人1万2000円、65歳以上、18歳以下2万円で見込みは8億9200万円。②前回H10年度の事務を参考に、4部10課でプロジェクトチームを設置、情報の共有・意思統一を図り万全で臨む。

質問 ①市の活性化にどう有効に反映できるか知恵と工夫が大事。市の考えは。

②今回の「定額給付金」についての期待は。

答弁 産業部長・市長

①活用を促すことは重要

な事でプレミアム付商品券、地域通貨の発行、割引きセールの実施など取り組み要請もある。商工会議所、商店街など関係者と連携を図り実効性あるものにした。②生活支援としてはありがたい。中身については少し市に投げかけてほしい部分もあるが、地域の経済に波及させていくことができるアイデアの余地はまだある。独自に進めていけるか検討したい。

地デジへの移行の推進

質問 2011年7月24日でデジタル放送に切り換わり、電波の有効活用と多様なサービスが期待される。情報が届きにくく、説明会等に参加できない方に、どうサポートしていくのか。

答弁 総務部長

国もH21年度に「受信者支援センター」を県に設置予定としている。今後市もどういう方法が考えられるか、国と協調しながらやっていきたい。



一般質問

信号機の設置

盛 泰子

質問 これまで何度も取り上げてきたが、県全体の信号機予算が少ないことが問題。①今年度の設置状況はどうか②県への要請に当たり優先順位を決定しているが、どのような内容か。③3年連続で優先順位1位の「あさひが丘下交差点」への設置見込みは。

答弁 総務部長

①東山代町里工業団地入口の信号は供用開始。啓成中学校下への新設と山代町久原大踏切の信号機改良が予定されている②国・県・市の道路管理者、警察署で選定委員会を構成し事故件数や交通量、交差点の形状、問題点などを点数化して客観的に優先順位を決めている。③ネットワークとなっていた点(国道拡張に伴う移転問題、歩行者待機場所の確保、

支柱設置場所の確保)は全てクリアしている。

前田家住宅

質問 往時は伊万里川から取水して庭園に水のある風景があつた。①それを再現するためにどのような検討がなされているか②「22世紀に残す佐賀県遺産」の指定を受けるとどのような対応がなされるのか。

答弁 建設部長

①伊万里川からの取水は地形や水路の状況等から困難。どのような手法で考えるか大坪塾の皆さんなどと協議したい。②保存のための支援として5百万円を上限とする1/2補助制度があるが外観修理が主。大坪塾など関係者との協議を進めつつ、補助範囲拡大について担当課長会議などで県に要請していきたい。

(3問省略)

病院のこれまでの進捗状況とこれからの展望

草野 謙

質問 H23年4月の開院に向けて、医療福祉組合を新たに立ち上げ用地交渉やインフラ整備、病院建設の事務手続きを進めている。しかし市民に対して説明不足の様な感じがする。開院までの一連のスケジュールはどうか。

答弁 公的病院統合推進室長

計画として①用地買収12月まで。②H21年1月から造成工事(約6ヶ月)③病院本体工事(約一年半)を予定。

質問 今の状況で間に合うのか心配している。そこで新病院の建設費、総事業費はいくら。

答弁 公的病院統合推進室長

これはあくまで予定金額①総事業費54億4700万円。②病院本体工事36億1900万円。③造成工事費4億円。

質問 市民の大切な税金を使つての新病院建設である。患者さんから信頼され、先生方にも魅力ある病院にする事が医師の確保に繋がると思うが。

答弁 公的病院統合推進室長

新病院は、質の高い医療と市民から信頼される病院を目指し、限られた財源の中で研修施設等の充実を図り、医療レベルの高い魅力ある病院を目指します。

質問 新病院の経営形態とはどんな経営を目指すのか。

答弁 市長

公営企業法の全適を目指す。

法定外公共物の払い下げ申請について

質問 H17年に国から譲与されてから、これまでに何件の払い下げの申請があつたか。

答弁 建設部長

H17年から23件の払い下げの申請があつた。

久原大踏切の危険性について

多久島 繁

質問 久原大踏切の信号機の設置はいつになるのか。

答弁 総務部長

赤と赤点滅になる信号機を今年度中には稼働できるように設置することである。

質問 臨港道路の延長は出来ないのか

答弁 建設部長

臨港道路は港湾施設であり、港湾機能を高めるためのもので、現時点ではできない。

伊万里・有田地区統合病院整備の進捗状況について

質問 看護師・小児科医・麻酔科医の確保はどうか。

答弁 公的病院統合室長

看護師については10名不足なので手立てはしてい

★自治体の経営する病院事業では、公営企業法のうち財務に関する規定が一部適用されている所が多いが、組織や職員の身分取扱いに関する規定についても適用していくもの

く。小児科医については3名である。麻酔科医は当初は置かない。

質問 議会内に地域医療整備対策調査特別委員会があるが、新病院建設に向けて、この委員会を最大限利用してほしいところだがどう思うか。

答弁 市長 委員会としての意見も言っただけで、それを参考にもしたい。病院建設に有意義に生かせるよう、特別委員会の意見を真摯に受け止めたい。

新型インフルエンザについて

質問 新型インフルエンザ対策としてのタミフルの確保は大丈夫か。

答弁 市民部長 国は国民の45%分のタミフルの備蓄に対応しようとしている。市としても、いざという時は、県で行っているタミフルの確保分を支援してもらえようとしている。

地域交通支援モデル事業について

浜野 義則

質問 事業計画もまとまりつつあり、来年4月から試験運行が計画されている。計画内容をみると、現在路線バス13往復・26便が運行されているが、今回5往復・10便に変更される計画で通勤にも支障をきたす時間設定になっている。

概算収支計画書等も示されているが、内容等を検討すると、人件費等が計上されていない等、まだまだ問題点も多く、事前に整理をしていく必要がある。

運行に伴う赤字補填額が現在より多くなってしまう可能性もあるように思うが、諸問題が解決されるまで試験運行を先送りすることは考えられないか。又、場合によっては白紙に戻して再検討することは考えられないか。

答弁 市長・産業部長

この事業は地元が率先して取り組まれ、市も地元の要請により県に採択への働きかけをしてきたことから、試験運行の先送りや白紙に戻した再検討は考えられない。

問題点や諸問題については試験運行を実施しながら、市も一緒になって解決をしていきたい。

質問 運賃収入減等で計画以上の赤字が出た場合、責任はどかが負うのか。

答弁 市長・産業部長 利用増進等、極力赤字が出ないように取り組みを検討していくが赤字補填で特定の人に責任を負わせることは問題がある。

県の補助がなくなっても市が将来的にも責任を持つて対応していく。



第4工水堤防工事、事故の真相、原因、責任問題

笠原 義久

質問 議会は20億円もの補正予算議案を苦渋の選択で可決したが、事故の真相、原因、責任問題をどの様に考えているか。

答弁 水道部長 堤防のたわみの予測想定は無理だった。表層の軟弱部分は後で判ったことで、国のマニュアルに従い、関連文献、専門家、大学教授等の意見を聞き、工事受注者らとの慎重な協議を重ねた結果、問題はないとの事であった。

質問 工事の重大性と工法的に難しいとの認識は。

答弁 水道部長 全国的に工法の例がなく、大変難しいとの理解があった。締切後の海水の流入が一番心配されたが、海底が水を通しにくい粘土層と判明、事業に着工した。

周到な調査をし、あくまで想定外の結果だ。国の公共事業でも調査のやり直し、設計の変更はあり得ること。

質問 工事日程、工期が大変短かったのでは。

答弁 水道部長 充分とは言えないが、短かった訳ではない。

質問 受注業者には契約をし、対価を払い、そこには信頼と工事の責任義務が生じ、結果責任で業者ミスと思うが。

答弁 水道部長 業者に対し問題はない。

質問 責任の所在を明らかにさせる為には、裁判という方法しか考えられないと思うが。

答弁 市長 第3者の調査機関を設置し、結果を待つ。瑕疵が認められた際はその時点で考える。

工業用水道貯水
施設工事について

高木 久彦

質問 第4工業用水道の貯水池建設中、締切堤が傾き、20億円の追加工事がなされることになったが、事前の調査や設計等に不備はなかったか徹底して検証すべきではないか。

答弁 水道部長

国の工事マニュアルに基づき、県と協議しながら施行しており、締切堤の変位は、想定外であったものである。確かに市民の皆さんからいろんな声があることは認識しており、原因について究明をしたい。工事に関しアドバイスを受けている地盤専門の先生に検証を依頼している。その結果、瑕疵があることが判明したときは、しかるべき対応を取りたい。

老人クラブ及び婦人会の育成について

質問 会長や支部長又役員などに成り手がなく、老人クラブや婦人会の存亡が心配されるが、市としても、支援策を講じるべきではないか。

答弁 教育部長

婦人会は、市の行事など献身的に活動されており、敬意を表したい。行政としてどんな支援ができるか、意見交換や情報交換を行いたい。

答弁 市民部長

老人クラブは、超高齢化社会の担い手として、頑張つて頂かねばならない。市としても、役員や会員増問題について、解決策を見出したい。

答弁 市長

会の存亡は、会員の確保が絶対的である。新会員を募るため、対象者を集め、研修会や講習会を市で開催することも良いのではないかと思う。

平成20年伊万里市議会第3回臨時会開催

13億5,400万円の追加補正可決!

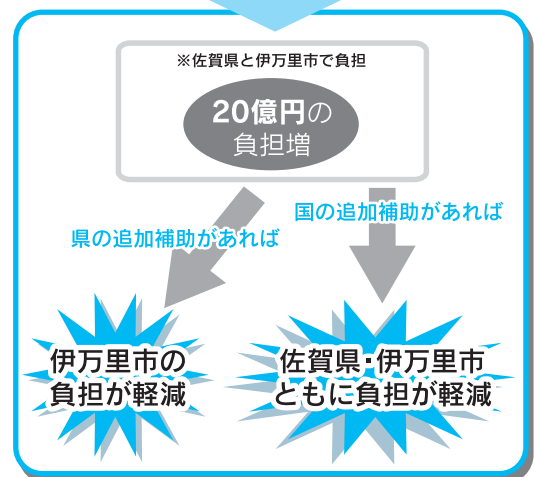
(第4工業用水道貯水施設締切堤補強対策工事費20億円)

11月10日に第3回臨時会が招集されました。今回の主な議案は、昨年7月、貯水池内海水の排水過程で発生した締切堤の変位に係る対策費用で、工事費の財源として企業債を20億円追加するものです。20年度は工事請負費等の執行残もあり、実質的には、13億5,400万円増になる見込みです。

審議にあたっては、責任施行を含めた責任問題、原因の究明、第三者による検証、今後の財政的負担、企業との覚書の効力、工期の見直し、調整等々、さまざまな角度から議論があり、難しい判断が求められる中、可決しました。

貯水施設締切堤補強対策工事 20億円

財源は企業債で手当



指定管理者の導入

伊万里市では平成18（2006）年度に導入。今年度で3年間の期限が切れる施設と新たに2施設について指定の議決をしました。

指定管理者制度：従来「公の施設」の管理運営主体については公共性確保の観点から、地方自治法により公共的団体等に限られていましたが（管理委託制度）、地方自治法の一部改正により、民間事業者やNPO法人等にも管理運営を委ねられるようになりました。

指定管理者制度導入施設一覧（平成21年度以降分）

指定管理者に委託をしている公の施設の名称	指定管理者となる団体の名称	指定期間	
伊万里市老人福祉センター	社会福祉法人 伊万里市社会福祉協議会	3年	平成21年4月1日から 平成24年3月31日まで
伊万里市老人憩の家（大川老人憩の家・山代老人憩の家・波多津老人憩の家）	九州産業株式会社	3年	平成21年4月1日から 平成24年3月31日まで
伊万里市こどもハートフルセンター ひまわり園	社会福祉法人 伊万里福祉会	3年	平成21年4月1日から 平成24年3月31日まで
伊万里休日・夜間急患医療センター	社団法人 伊万里・有田地区医師会	5年	平成18年4月1日から 平成23年3月31日まで
伊万里市夢耕房たきの	滝野地区振興期成会	3年	平成21年4月1日から 平成24年3月31日まで
伊万里市林業研修センター	伊万里西松浦森林組合	3年	平成21年4月1日から 平成24年3月31日まで
伊万里市木工芸センター	伊万里西松浦森林組合	3年	平成21年4月1日から 平成24年3月31日まで
伊万里市城Ⅱ灌漑揚水施設	城地区鉱害復旧揚水施設利用組合	3年	平成21年4月1日から 平成24年3月31日まで
伊万里市眉山ふるさと館	大川町コミュニティ運営委員会	3年	平成21年4月1日から 平成24年3月31日まで
伊万里市大川内山キャンプ場	伊万里市シルバー人材センター	3年	平成21年4月1日から 平成24年3月31日まで
伊万里・有田焼伝統産業会館	伊万里陶磁器工業協同組合	3年	平成21年4月1日から 平成24年3月31日まで
伊万里市市営駐車場（中央駐車場・船屋町駐車場・幸善町駐車場・駅前駐車場・駅前広場駐車場・駅前東駐車場）	九州産業株式会社	3年	平成21年4月1日から 平成24年3月31日まで
伊万里市東駅ビル 西駅ビル	株式会社 三和美装	3年	平成21年4月1日から 平成24年3月31日まで

待望の西九州道（伊万里市域）
着工式 歛入れ



編集後記

「百年に一度の…」で始まる枕言葉に代表されるように、激動の中、厳しい新年を迎えました。

国はもとより市民生活に直接関わる市行政も更に知恵と工夫で具体的対策と成果が求められる一年になりそうです。

市民の皆様の声をしっかりと届ける責任もまた痛感しています。昨年一年間、多くの方に議会傍聴に来て頂きました。議会への関心・注目を更に向けて頂くためにも、分かりやすい議会だよりになるよう努めてまいります。皆様のご意見をお待ちしております（雅）

◎樋渡雅純 ○山崎秀明

多久島繁 前田久年

渡邊英洋

顧問 占野秀男、盛泰子

発行

伊万里市議会

伊万里市立花町一三五―一

☎0955-23-2111

☎0955-22-1277

E-mail:jkai@city.imari.jp

編集

市議会だより編集委員会

印刷 山口印刷株式会社